平成２８年度　北海道根室高等学校　学校評価のまとめ

	本校の経営方針及び指導上の重点事項	自己評価 主な成果と課題	H28	H27	改善の方策	学校関係者評価
学校経営	①本校が目指す姿を明確にし、校内組織の活性化及び教職員の学校経営参画意識の高揚を図り、協働体制の確立に努める ②生徒一人一人の個性や能力を伸張させ、進路希望を実現する教育課程の編成・実施及び２１世紀型能力を身に付けさせる授業の改善に努める。 ③教職員と生徒、保護者の信頼を基盤に活力あふれる教育活動を展開し、地域の期待に応える魅力ある学校づくりに努める。	○学校経営方針及び目指す学校像を示し、教職員の共通理解の促進に努めた。 ○統合を見据えて教育活動の改善に向けた具体的な取組の検討が分掌を中心に行われれた。 ○ Web ページの日常的な更新や学校通信、生徒指導だより、進路だより等や授業の実施など地域に対する積極的な情報発信に努めた。 ○統合・単位制の導入による新設校の理解を深めるためパンフレット・ポスターの作成、オープンスクールや学校訪問を実施した。 ○３年商業科の課題研究や部活動、生徒会等を中心に地域行事への積極的参加が見られた。また、地域の関係機関と協力しての防災安全教育、ねんりんピック等の地域行事への参加など地域と連携した活動に積極的に取り組んだ。 **●次期学習指導要領やインクルーシブ教育など新たな国の動きを踏まえ、学校経営方針に対する共通理解や目指す学校像の共有化を一層図る必要がある。** **●効果的な情報発信及び地域との連携による学習活動を一層工夫する必要がある。**	3.0	3.1	・教育課題を踏まえた教職員の共通理解の促進 ・実態に応じた分掌の再編など組織力を高める改善の検討 ・組織的・系統的な学校評価の一層の充実 ・情報発信の一層の促進 ・PTA の学校行事への積極的な参加の促進 ・地域や関係機関と連携した活動の一層の充実 ・研究指定や研究事業などの積極的な活用	○自己評価については概ね適切な評価である。 〔意見等詳細〕 ・学校ホームページで情報を的確に発信している。 ・生徒から配布物が保護者へ届かないことが多く、改善が必要である。 ・新設校に向けて準備を進めている。 ・北方領土研究会や防災教育等地域と連携し特色ある教育を進めている。
学習指導	①多様な生徒の進路希望に対応できる教育課程の研究に努める。 ②研修活動をとおして個々の授業改善に努めるとともに、生徒の学習意欲を高めて学力の向上を図る。 ③地域社会の教育力を有効に活用し体験的な学習や実践的学習を強化して教育活動の充実に努める。 ④調和のとれた授業計画を作成し、学習活動と課外活動の円滑な運営に努める。	○授業時数の確保など教育課程は概ね適切に実施されている。 ○単位制趣旨や学校の特色を生かした教育課程の編成が推進されている。 ○ＡＬの視点に立った授業改善をすすめるとともに、観点別学習状況の評価やルーブリック、パフォーマンス評価に関する校内研修の実施など、指導方法・評価方法の改善に向けた取組が進められている。 **●２１世紀型能力育成のため、カリキュラムマネジメントの理解の促進、シラバスの活用を含めた授業改善をより一層努める必要がある。** **●普通科・商業科の併置校における単位制の趣旨を生かした教育課程の実施を一層進める必要がある。** **●研究指定の積極的な活用を図り、学習指導の改善に向けた取組を一層推進する必要がある。**	3.1	3.1	・教育課程の適切な編成と実施 ・教育課程に関する全校的な研修の一層の充実 ・授業改善に関する校内研修の充実 ・授業規律に関する指導の共通理解・共通実践の確認 ・教科担任会議や学年会での教科指導に関する課題の　共有化 ・家庭学習を促進する組織的な取組の実施	○自己評価については概ね適切な評価である。 〔意見等詳細〕 ・家庭学習促進に向けた取組が必要であると思われる。家庭学習を自主的に取り組む習慣が身に付いていない生徒は多いと思うので、課題や宿題を課すなどの取組が必要である。
生徒指導	①自制・自律の精神を育成する。 ②集団生活の中で社会性と責任感を育成する。 ③命を尊ぶ心と感謝の心を育成する。 ④家庭・地域社会と協力・連携を図り、地域に根ざした生徒の健全育成に努める。 ⑤学校教育相談に関する共通理解を深め、生徒相談室の利用体制を確立する。	○ HR 等での日常の指導をはじめ、計画的な指導により、基本的生活習慣の育成が図られ、多くの生徒が落ち着いた学校生活を送っている。 ○安全行動に関する日常的な注意喚起のほか、長期休業前等に生活全般の注意を促す保護者あて文書を配布するなど家庭との連携を図り事故防止に努めた。 ○いのちの授業などにおいて、ストレスマネジメントや自殺予防教育など自他を尊重する態度の育成に努めた。 ○特別支援教育、性的マイノリティーなど配慮の必要な生徒理解に向けた研修を実施している。 ○サポート委員会の定期的な開催等情報の共有化が図られ、積極的な生徒指導が行われている。 ○「いじめ」に関する調査やネットパトロールの定期的な実施など、いじめやネット犯罪・トラブル等の防止に努めた。 ○活発な生徒会活動や部活動など生徒の自主的・自発的な活動が推進されている。 **●基本的生活習慣や規範意識の育成に向けた指導の一層の充実に努める必要がある。** **●「いじめ」をはじめ、事故防止に向けた指導の一層の充実を図る必要がある。** **●教育相談体制の一層の充実を図るとともに、特別な支援を要する生徒など多様な生徒に対応した指導体制を整備する必要がある。**	2.9	2.9	・基本的生活習慣の確立を目指した教職員の共通理解の一層の促進 ・家庭・関係機関との連携の継続と一層の推進 ・いじめ防止基本方針に基づいた指導の徹底 ・スクールカウンセラーの一層の活用等教育相談の充実に向けた組織体制の整備 ・多様な生徒に対するアプローチの仕方などに関する研修の実施 ・自主的・自律的な生徒会活動の一層の充実	○自己評価については概ね適切な評価である。 〔意見等詳細〕 ・生徒の校外での生活態度は問題ないと考える。 ・特別な支援を要する生徒に対応して、支援体制の構築が必要である。
進路指導	①個々の生徒の能力や適性に応じた進路指導に努め、進路希望の実現に向けた支援体制を整備する。 ②３年間を見通した進路指導計画を作成するとともに、段階的で具体的な実践計画を推進する。 ③早期に生徒の進路意識を向上させるため、積極的で効果的な進路情報の提供に努める。 ④生徒が自ら進路情報を検索し入手できるよう、進路資料の整備や進路相談の充実に努める。	○計画的な科目選択指導により、進路希望等を意識したものになるよう努めている。 ○進路行事や総合的な学習の時間での指導を通じ、キャリア教育は概ね計画的に実施されている。 **●組織的・系統的なキャリア教育の充実に向け、全体計画の改善を図り、具体的な取組を推進する必要がある。**	3.1	3.1	・キャリア教育の取組の推進 ・進路希望実現までのプロセスを早期に理解させ積極的に取り組ませる指導の推進 ・科目選択ガイダンスの改善 ・進路状況の詳細な分析と活用 ・各教科における受験体制の確立	○自己評価については概ね適切な評価である。 〔意見等詳細〕 ・進路について、保護者・生徒が担任等と相談する機会を増やして欲しい。 ・インターンシップは今後も充実させて欲しい。
健康・安全指導	①生徒の健康の保持増進と安全意識の高揚に努める。 ②応急処置の指導をとおして意識の進化を図る。 ③校舎内外の整備と美化をとおして、環境意識を高める。 ④計画的な保健指導を確立する。	○先進的な防災教育をはじめ、学校の教育活動全体を通した計画的・系統的な指導により、生徒の自ら健康・安全を守る実践力の育成に成果をあげている。 ○警察や消防、保健機関等の関係機関と連携・協力し、指導の充実に努めた。 ○特色ある防災教育の取組など健康安全指導が適切に実施され成果が上がっている。 **●自転車通学時の交通マナーの向上等、交通安全指導を一層充実させる必要がある。** **●運動部活動の加入促進等、運動に親しみ体力の向上を図る指導を一層充実させる必要がある。**	3.3	3.3	・学校保健・安全計画及び個別の指導計画の周知徹底 ・交通安全意識を高める効果的な指導の工夫 ・生徒・保護者への適切な情報の提供 ・効果的な指導方法に関する研修の実施など運動部活動の充実	○自己評価については概ね適切な評価である。 〔意見等詳細〕 ・特になし

※自己評価における数値は、各項目を「４・・・十分達成できている。３・・・達成できている。２・・・やや不十分である。１・・・不十分である。」で全教職員が自己評価した平均値